

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（55） 学校名 豊田市立御作小学校

1 テーマ

「人とのふれあいを通して、ふるさとを愛し、心豊かにたくましく生きる子」

2 ねらい

- ・地域講師の力を生かし、学校の諸活動に取り入れ、活気ある学校づくりを図る。
- ・児童が校外においても自信をもって活動を行うための能力を養う。
- ・体験活動や協働学習を進める中で、地域の自然や歴史、人々の生き方・考え方について学ぶ。
- ・学んだ成果をさまざまな方法で発信できる。
- ・校内整備員を活用し、栽培活動や校内の生き物調べなどを安全に活動できるように環境を整える。

3 活動内容

（各学年の活動）地域の学習素材に発達段階や系統性を考慮した単元を構成し、学習を進める。

1年：地域の方からのアドバイスを受けながら野菜を栽培することを通して、多くの体験をする。地域の方から昔の遊びについて学ぶ。

2年：地域で様々な活動をしている人と昔遊びや野菜栽培などで交流を図り、学んだことや気付いたことをまとめたり発表したりする。

3・4年

：野菜作りなどを通して、収穫の喜びを体験したり、全校児童との交流を深めたりする。

：川の環境を調べる活動を通して、地域の環境を守る意識を高める。

：福祉実践教室などの体験活動を通して学んだことを生かしたり、地域のお年寄りと交流したりすることを通じて、自分たちにできることを考える。

5年：地域特産の米作りを通して、農業に従事する人の苦労や工夫を学ぶとともにミネアサヒのよさを知らせる活動を行う。

：野外学習の一環として実際に佐久島を訪れ、自分たちと同じ小規模校の子どもたちと触れ合ったり、海が近くにある暮らしについて体験したりする。

：地域講師を招聘して47災害について学ぶとともに、防災意識を高める。

6年：地域に目を向け、地域講師から学んだり、実際に地域をめぐったりして地域の良さを再発見し、広める活動を行う。

- 2年・4年・6年生：陶芸教室に地域講師を招き、作品づくりを通して地元の伝統産業について知るとともに、地域への愛着を深める。

- 本校独自の全校ダンス「シャイニングロード」や歌曲「まほろば」の講師を招聘し、ダンスや歌唱の技能を高めるとともに愛校心を育て、地域に発信することで心の交流を図る。

4 成果と課題

(成果)

- ・地域の方から米や野菜の育て方や昔遊びなどを、体験を通して学び、地域への愛着を深めることができた。
- ・5年生の佐久島しおさい学校との交流活動は、小規模学校同士の貴重な体験になった。また、費用面でも「特色ある学校づくり推進事業」からの補助で保護者の負担を大きく減らすことができた。
- ・地域の陶芸制作者と交流し、自分で陶芸作品を作ることを通して、芸術についての感性を高めることができた。本年度も、交流館の作品展に出品し、地域の方から評価された。
- ・学区を襲った4.7災害について講師を依頼し、5年生の総合的な学習の時間で講演していただいた。災害体験者の話に耳を傾け、災害の恐ろしさだけでなく、被災時に自分たちにできることなどについて真剣に考える時間となった。
- ・プロのダンス講師から指導を受けることによって、運動会で指先にまで気を付けていたり、体全体を使った大きな動きにしようとしたりするなどの表現力を高めることができた。昨年度よりも1回多く指導していただき、隊形移動も考えていただいた。
- ・保護者アンケートの「特色ある学校づくり推進事業」に関する項目の、「とてもよい」「よい」の回答が94%であった。
- ・校内整備員を2名体制で実施したことでの整った良い環境で子どもたちが生活することができた。また、大変熱心に活動していただいたことで整った環境で運動会やマラソン大会を実施することができた。松などの樹木の剪定や玄関前の白砂の敷設など、熱心に取り組んでいただいたこともあり、保護者アンケートでも100%の方が施設管理について「とてもよい」「よい」と回答している。
- ・本年度は合唱指導の時間を増やし、さらに、講師の方に来ていただく回数を増やした。的確な指導と要点を絞った練習で子どもの歌声が変わった。
- ・栽培活動や総合的な学習の時間の様子を、どの学年も積極的に学級通信等で紹介することで、保護者の認知度数が上がっている。昨年度大幅に増加したホームページのアクセス数がさらに多くなり、1月31日の時点で昨年度42300件余りが59947件となった。

(課題)

- ・これから児童数が年を追うごとに減少していく。昨年度末から総合的な学習の時間の複式プログラムを作成し始め、本年度より複式プログラムを実施し始めた。暫定的な部分もあるので「特色ある学校づくり推進事業」とかかわらせながら進めることのできる事業など見直しを図り、より児童の学びの一助となるようにし

たい。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページの更新は校長が担当し、ほぼ毎日更新しており、講師が関わるすべての行事において、講師と子どもたちの学ぶ様子を紹介した。
- ・学校だよりや学年通信で、特色ある活動について紹介した。また、新しくお便りがアップされるときにはきずなネットワークを利用し、全家庭に呼びかけた。
- ・保護者や地域会議委員など来客の際には地域学校共働本部に地域コーディネーターがまとめた写真を中心とした活動の記録を見ながら、地域コーディネーターによる活動の説明を行った。
- ・学習発表会で特色ある学校づくり推進事業に関わる公開授業を行う。(全学年)